

日本心理学会第**87**回大会公募シンポジウム

『宗教と心理学の接点
—キリスト教・プロテスタントの視点から』

発表者 河村従彦

2023年9月15日

神学と心理学(経歴)

大学 文学部・仏文専攻 →サルトル、ニーチェなど

神学校(牧師養成)卒業 →プロテスタント教会**牧師 神学**

アメリカのセミナリー 修士課程 **神学専攻/宣教学専攻**

帰国後 **臨床心理学専攻修士課程** →**臨床心理士**

心理相談室開設 2022年からオンライン

神学校(牧師人材育成)院長、9年

人間科学専攻博士後期課程単位取得後退学 2016年 博士(人間科学)

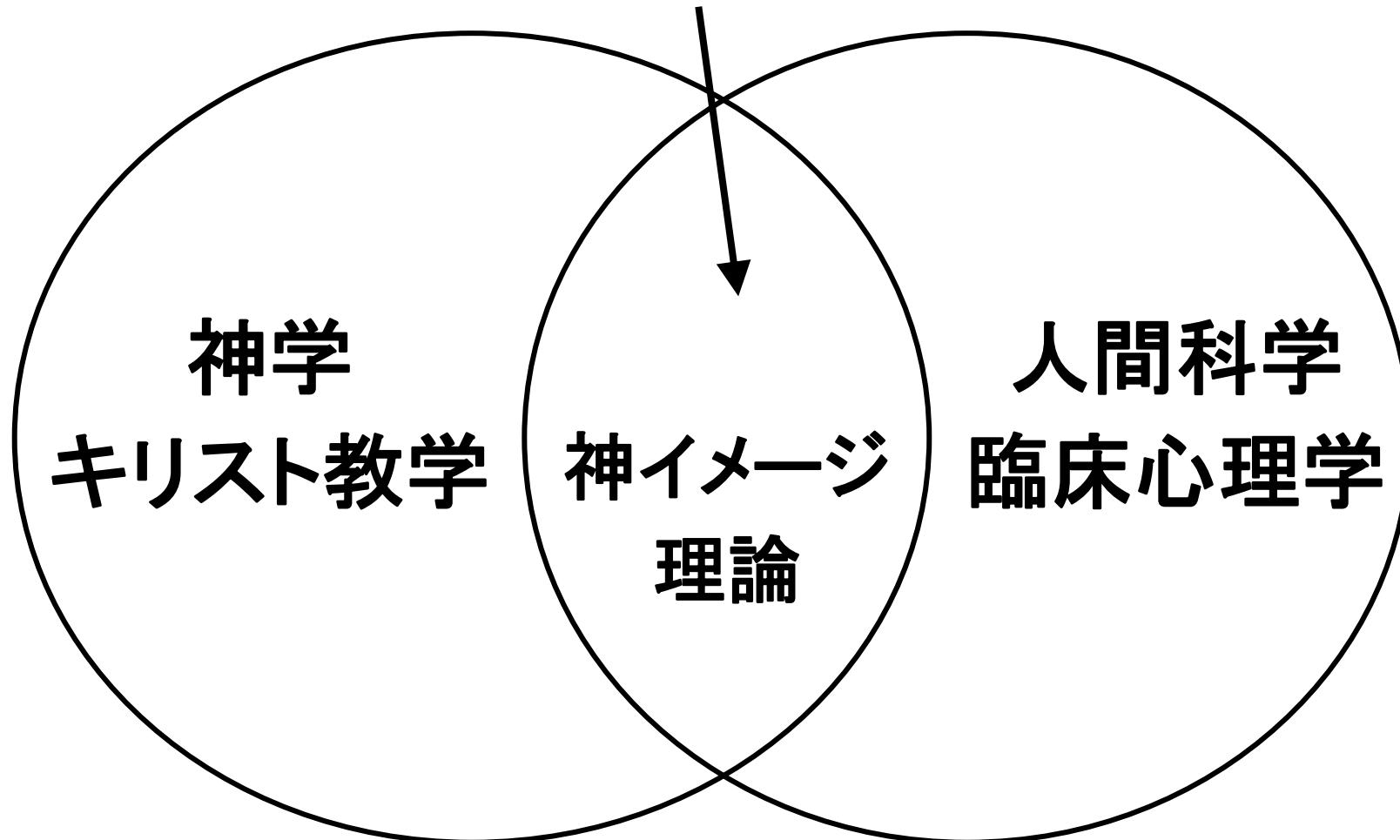
児童発達支援 —**心理専門職**として事業所研修、個別療育等

大学・キリスト教心理学講座、神学校・牧師養成カウンセリング講座

YouTube「恵みフォーラムチャンネル」(毎週日曜日にキリスト教講話を配信)

神学と心理学(研究・関心領域)

人間科学(心理学)と信仰にまたがる領域に关心



宗教体験
+
健全な思考

1 プロテスタントの宗教性

ユダヤ教(紀元前、ヘブル語聖書)の土壤に

キリスト教(紀元後、ギリシャ語聖書)をぶつけて

キリスト教

→旧約聖書

→新約聖書

旧約聖書(ユダヤ救済史)

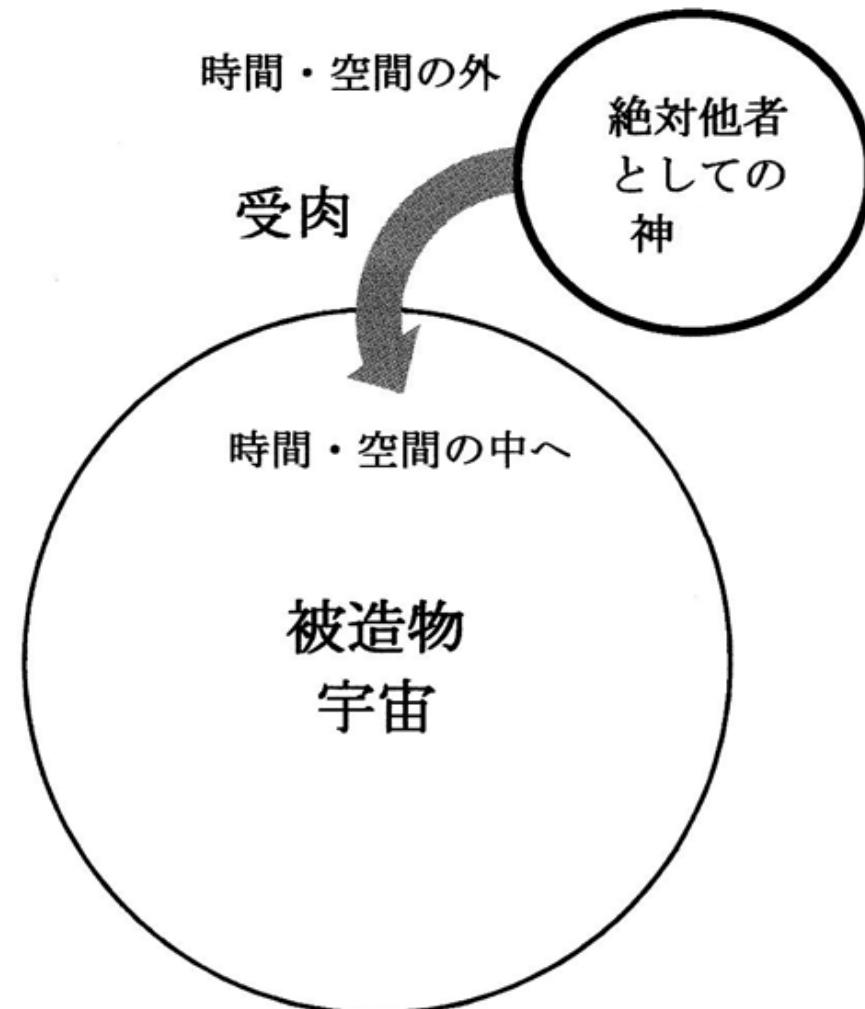
旧約続編(ユダヤ教宗教文書)

新約聖書(イエスの歴史・解釈)

民族宗教

世界大宗教

1 プロテスタントの宗教性

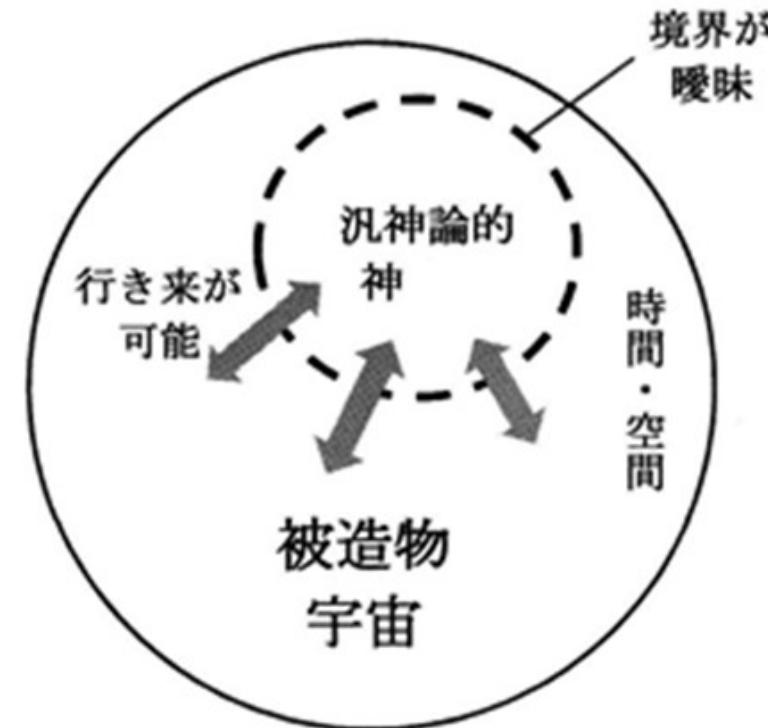


キリスト教の神概念

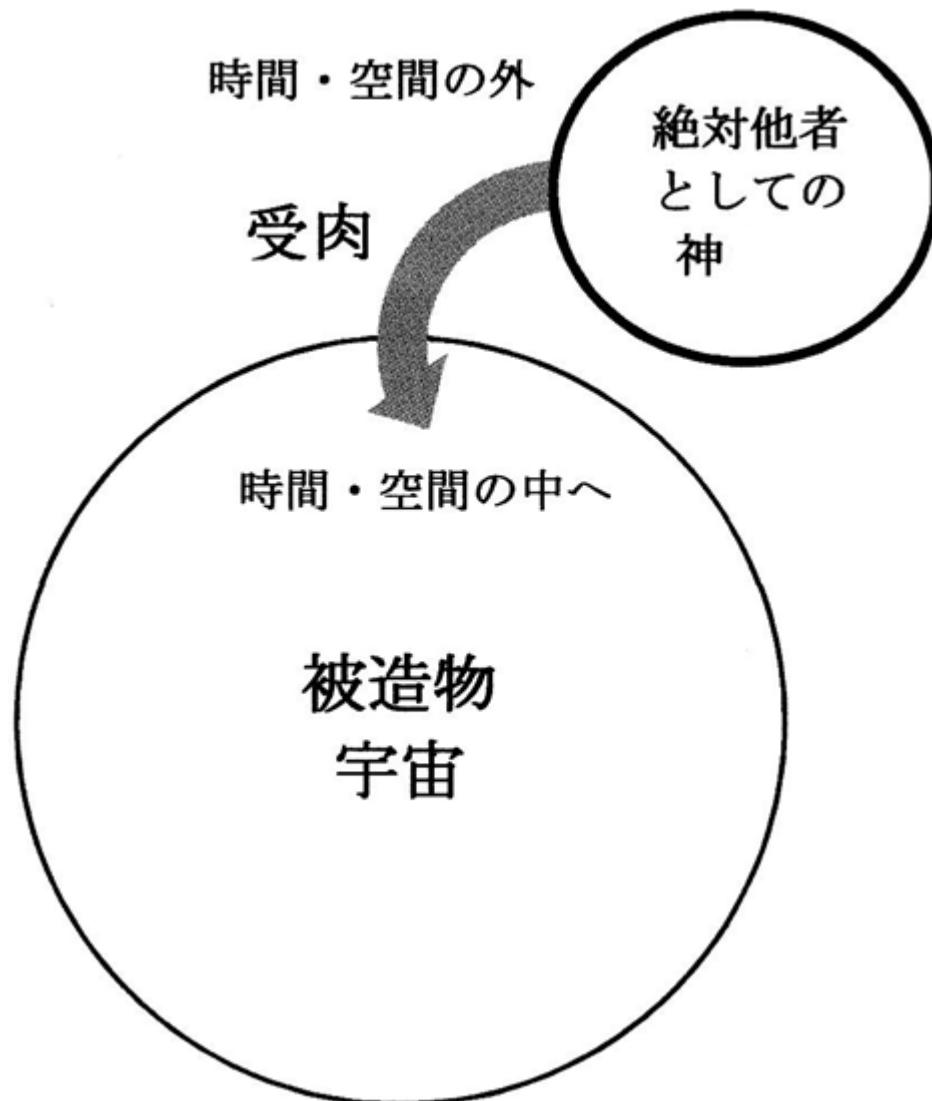
ユダヤ教の一神教絶対他者神

《参考》聖書と関連がある宗教

ユダヤ教、キリスト教、イスラム教



1 プロテスタントの宗教性



- 1 一神教絶対他者神
人格性 意志 計画
- 2 人間と関わりを持つ
→イエス
受容 共生
人間の救済と**変容**

1 プロテstantの宗教性

歴史的経緯

正教(ロシア、ギリシャ)

→1054年 カトリック

→1555年 プロテstant

カトリック 世界大の組織 ミサを重視

プロテstant 多数の宗派 聖書の語り(説き明かし)

1 プロテスタントの宗教性

特長 聖書の語りから神概念を描き出す → 説教

— 神教絶対他者神 → 人間と関わりを持つ

命題 神は何を考えているか → みこころ

神はどういう存在か → 神論、神イメージ



神学

2 プロテスタント神学と心理学との接点

★問題点1 人間理解

1 心とは？

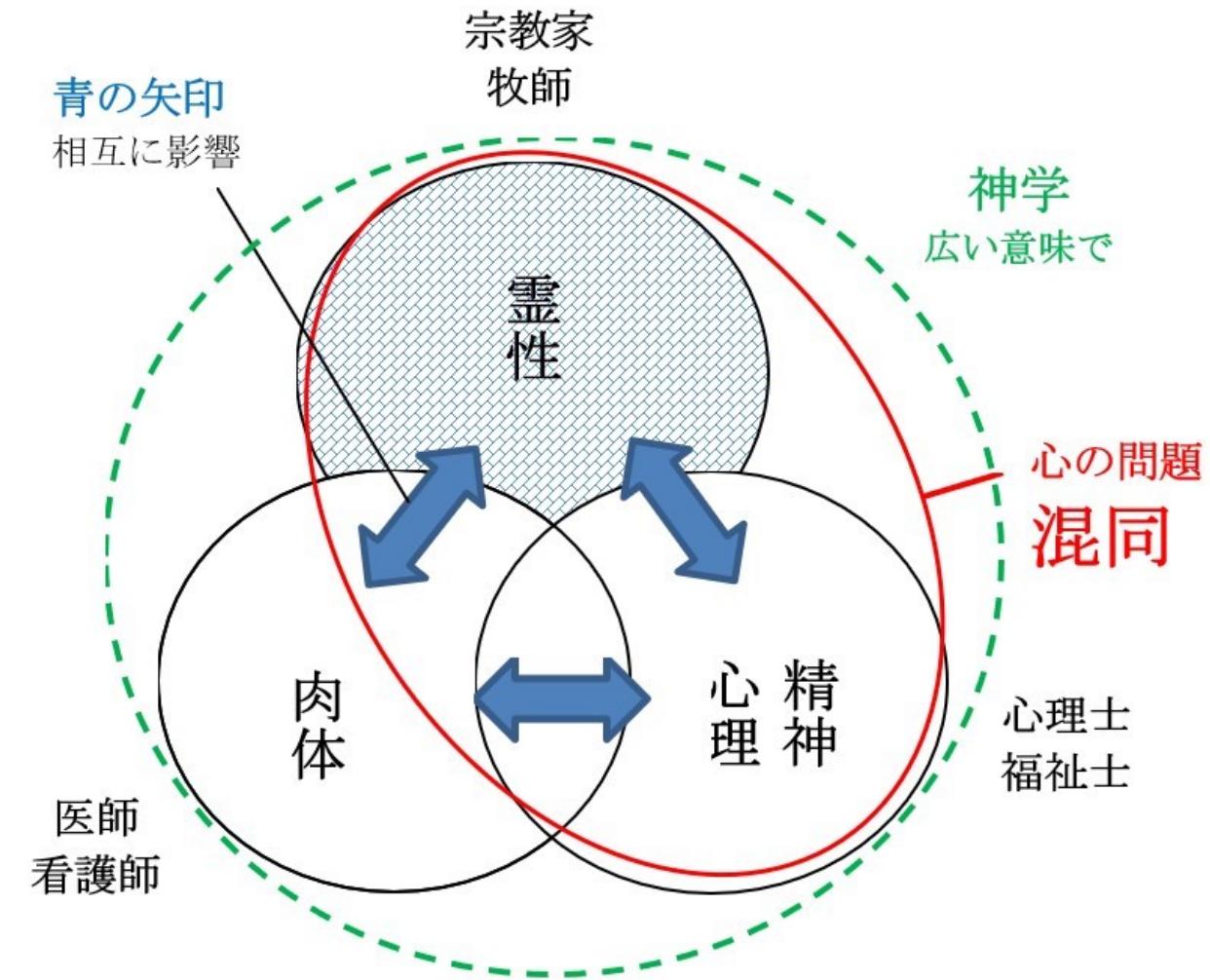
2 相互批判

神学から

心理ケアではスピリチュアルな救済はない

心理学から

心理ケアに宗教が介入すると症状が悪化



2 プロテスタント神学と心理学との接点

★問題点2 方向性

キリスト教

神



人間

啓示・演繹的

心理学

知見



人間研究

観察・帰納的

実証的

2 プロテスタント神学と心理学との接点

★問題点3 神を実証研究の俎上にのせる

神という概念自体、実証的に構成概念を定義できない(例、無意識)。

操作的定義

心理学の構成概念 「傾性概念」と「理論的構成概念(仮説的ー)」

「傾性概念」 観察された行動パターンを抽象的に記述

「理論的構成概念」 観察に還元できない「余剰意味」を含む

→十分な理論的検討を経て妥当で計量可能な構成概念に集約することがむずかしい。実践的かつ具体的な運用場面を想定して、概念を実際的に定義(渡邊、1996、p.126)。

3 心理学が貢献できる役割(日本)

	心理学	神学
20世紀末～21世紀	隆盛	布教の限界、会員数減少
神学側 接近		心理学を無自覚・無批判に取り込む
混乱		異同が不明確 宗教性の混乱
批判		心理学批判 救済はない
心理学側 批判	神学批判 症状が悪化する	
貢献可能性	人間がどういう意味で救済を必要? 受け皿となる人間理解の材料提供	どう応答?

4 対話の可能性を提出する神イメージ理論

I 【精神分析理論】 Freud(1927, 1938)
エディプス期と関連

諸外国 神イメージの内在化という宗教事象
心理学手法で研究

Winnicott 中間領域理論 →

II 【対象関係論】 Rizzuto
“The Birth of the Living God” (1979)
移行対象による神の誕生

Bowlby アタッチメント理論 →

III【アタッチメント理論】
神イメージの変化～補償仮説か一致仮説か
Kirkpatrick & Shaver(1990) →②
Kirkpatrick(1992, 1997) →①
Dickieら(1997) →①、②
Granqvist(1998) →③
Granqvist & Hagekull(1999) →③
Beck & McDonald(2004) AGIの開発
McDonaldら(2005) →①
Hall, Fujikawaら(2009) →④

Rizzuto理論の修正

人間中心アプローチ 神中心アプローチ
Meissner(1984) 外側と内側の境界部分
Leavy(1988) 精神分析を優位にしない
Jones(1991) 転移の変化と神イメージの
変化
Spero(1992) 四つのルート

諸要素との関連研究

Benson & Spilka(1973)
Roof & Roof(1984)
Lawrence(1997) GII、GISの開発

Davis, Moriartyら(2012)の総括

- ①内的作業モデル一致仮説
- ②感情補償仮説
- ③適合一致仮説
- ④内在関係認識一致仮説

4 対話の可能性を提出する神イメージ理論

心理学	神イメージ理論 我が国における実証研究	神学
	人間がどういうイメージで神を内在化させているか	←神学テーマ
実証的研究法→	実証的研究法 聖書の記述から質問項目作成	(文献研究) ←聖書の記述
量的分析	日本のキリスト者を対象にリサーチ、統計分析 神イメージを測定する尺度の開発 →神イメージ尺度日本版(GIS-J)	
質的分析	半構造化面接とM-GTA、神イメージの変化のプロセス・パターンの分析	
	宗教体験を実証的心理学用語で表現する試み	

4 対話の可能性を提出する神イメージ理論

自我同一性・神のイメージ・ 親の養育態度の男女別相関

		ラスムッセンの自我同一性尺度日本語版						神イメージ尺度	
		REIS						GISJ	
男性		基本的信 頼感	自律感	主導性	勤勉性	アイデン ティ ティーの 確立	親密性	親しい神 イメージ	厳しい神 イメージ
	GISJ	親しい神イメージ	.07	.10	.20	.19	.31	.17	
PBI	親しい神イメージ	-.50 **	-.39 *	-.16	-.47 **	-.23	-.29		
	父養護	.30	.00	.24	.07	.07	.14	.04	.06
PBI	父過保護	-.42 *	-.24	-.62 **	-.36 *	-.14	-.35 *	-.25	-.01
PBI	母養護	.12	.18	.49 **	.29	.28	.44 *	.32	.03
PBI	母過保護	-.29	-.23	-.45 **	-.32	-.19	-.38 *	-.21	.15

** $p < .01$, * $p < .05$

n=33

		ラスムッセンの自我同一性尺度日本語版						神イメージ尺度	
		REIS						GISJ	
女性		基本的信 頼感	自律感	主導性	勤勉性	アイデン ティ ティーの 確立	親密性	親しい神 イメージ	厳しい神 イメージ
	GISJ	親しい神イメージ	.25 *	-.14	.15	-.01	.14	.29 *	
PBI	親しい神イメージ	-.04	-.09	-.14	-.18	-.17	-.26 *		
	父養護	.29 *	.06	.16	.11	.44 **	.26 *	.30 *	.10
PBI	父過保護	-.05	-.17	-.07	-.22	-.11	-.20	.05	-.03
PBI	母養護	.30 *	.06	.32 **	.11	.18	.18	.24	-.05
PBI	母過保護	-.07	-.18	-.25 *	-.23	-.05	-.18	-.11	.23

** $p < .01$, * $p < .05$

n=66

「神イメージ尺度」 (GISJ、河村、2010、2013a)

PBI (Parental Bonding Instrument) 日本版 (小川、1991)

4 対話の可能性を提出する神イメージ理論

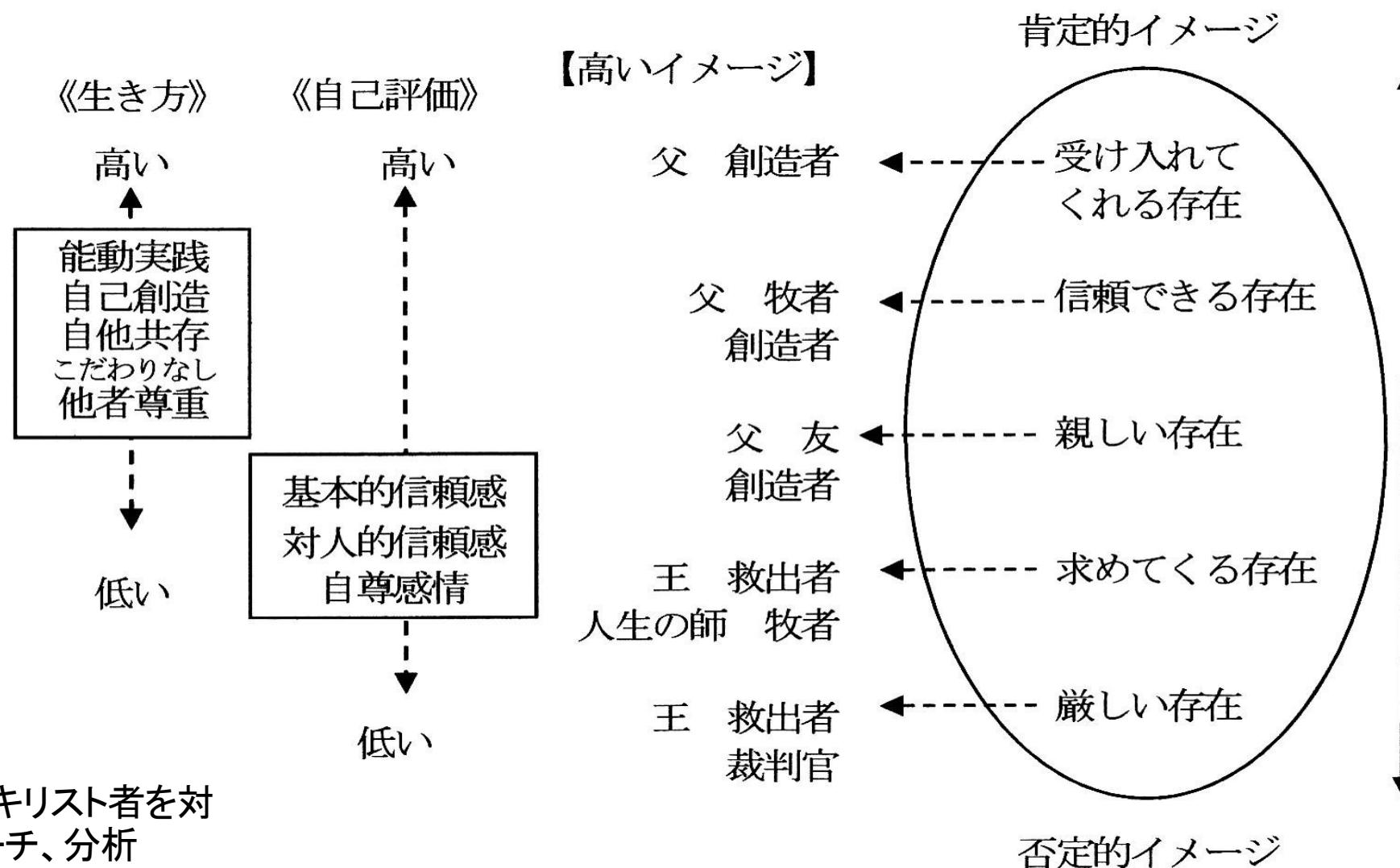
		ECR-GO		GAS		GISJ	
		見捨てられ不安	親密性の回避	見捨てられ不安	親密性の回避	親しい神イメージ	厳しい神イメージ
GAS	見捨てられ不安	.59 **	.18 *				
	親密性の回避	.32 **	.20 *		.51 **		
GISJ	親しい神イメージ	-.30 **	-.08	-.47 **	-.60 **		
	厳しい神イメージ	.41 **	.20 *	.54 **	.30 **	-.24 **	
PBI	父養護	-.11	-.20 *	-.19 *	-.01	.18 *	-.13
	父過保護	.17	.11	.23 **	.06	-.13	.19 *
PBI	母養護	-.27 **	-.18 *	-.28 **	-.14	.27 **	-.20 *
	母過保護	.25 **	.12	.29 **	.17	-.14	.29 **

** $p < .01$, * $p < .05$

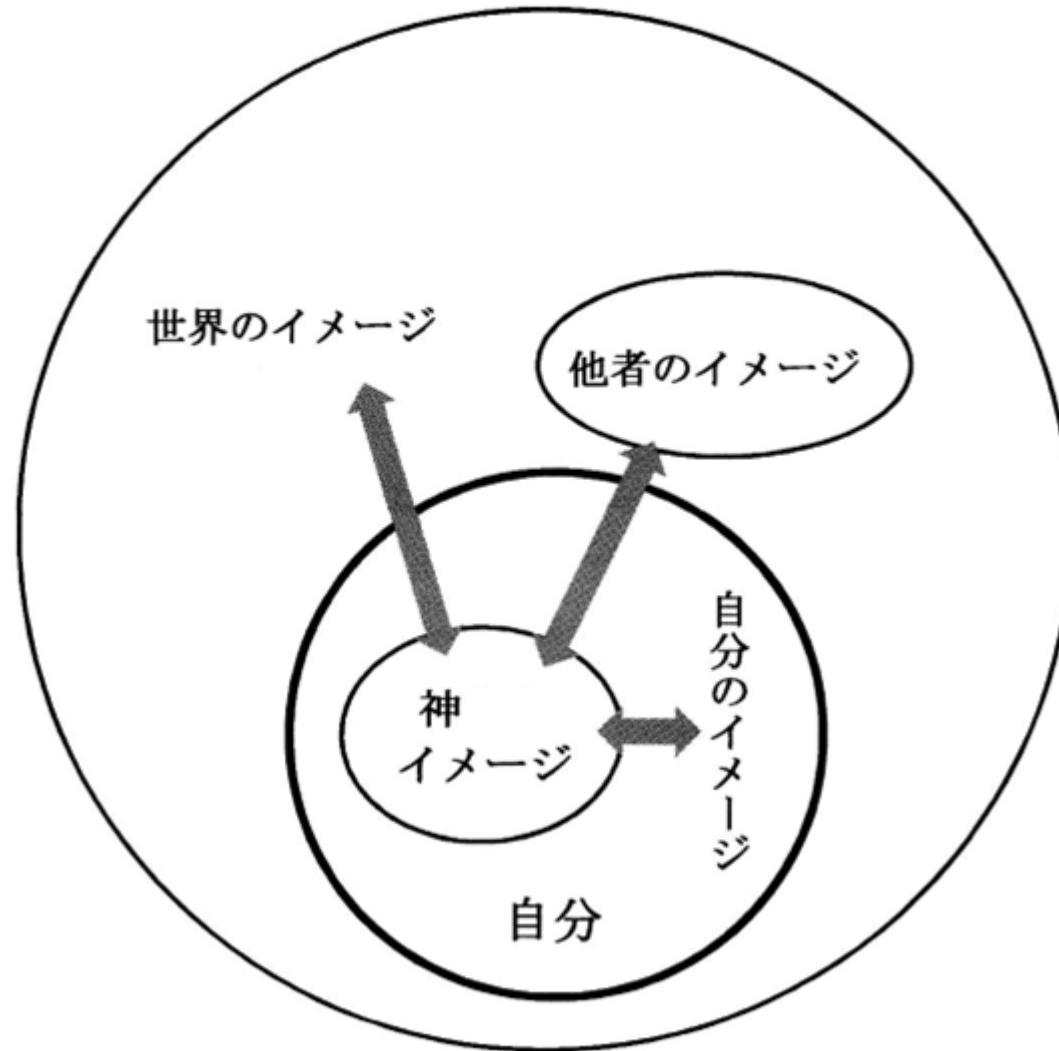
n=129

一般他者版成人愛着スタイル尺度 (ECR-GO) (中尾・加藤、2004a、2004b)
 「神アタッチメント尺度」 (God Attachment Scale)
 「神イメージ尺度」 (GISJ、河村、2010、2013a)
 PBI (Parental Bonding Instrument) 日本版 (小川、1991)

4 対話の可能性を提出する神イメージ理論



4 対話の可能性を提出する神イメージ理論



神イメージの影響

5 現状と期待される今後 我が国の状況をふまえて

- 1 神学と心理学の相互理解と適正なすみ分け
- 2 人間変容への心理学的知見の貢献
 - プロテstant神学が提出してきた人間変容の可能性
自立 親子関係 メンタル・バランス
宗教現象とマインド・コントロール
- 3 統合的な人間理解に立ったバランスのよい人間イメージ
- 4 思考停止に陥らない節度ある神学(theologize)

5 現状と期待される今後 臨床提言

カワムラカウンセリングルーム <https://kcps.jp/>

神学が背景にある心理臨床

手法は一般の臨床心理学 聖書は使わない

YouTube「恵みフォーラムチャンネル」

<https://www.youtube.com/c/megumiforum>

神学・心理学の統合的理解に立った聖書の講話

神学校の人材育成

相互理解を前提とした次世代の臨床への示唆

《参考》神イメージ理論 資料

「自尊感情、基本的信頼感、生き方と絶対他者(神)イメージの関連」、ルーテル学院大学大学院総合人間学研究科臨床心理学専攻修士課程、修士論文、2010年。

「日本人キリスト者の神表象研究—Wesley理論に基づく教会教育の視点からー」、東洋英和女学院大学大学院人間科学研究科人間科学専攻博士後期課程、博士論文、2015年。

『神さまイメージ豊かさ再発見』、イムマヌエル総合伝道団出版事業部、2013年。

『神さまイメージと恵みの世界』、いのちのことば社、2018年。

ご静聴ありがとうございました。



Kawamura@kcps.jp